

事業所名

はぐくみの家 レインボー

支援プログラム

作成日

令和7 年

1 月

28 日

法人（事業所）理念	社会的支援を欠くことのできない子どもたちの生活と成長を支えるため、何よりもまず子どもたちの目線に立ち、その子一人一人に合わせた環境を提供することを目標としています。		
支援方針	個別支援と集団活動のバランスをとりながら、自分でできることを増やしていくための日常生活動作や、人とのやりとりを通じたコミュニケーション能力の獲得・向上にむけて支援します。自分の持っている力を発揮できるように環境を調整し、喜びや達成感を味わうことで自己肯定感を高められるようにしています。		
営業時間	平日：14：00～17：00 学休日：10：00～16：00	送迎実施の有無	あり（自宅までの送迎は応相談）
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	日常生活動作の獲得に向け、生活の流れを構造化し、子どもたちが認知しやすく過ごしやすい環境を整えます。健康面では、毎日の健康管理と必要な対応を行います。子どもたちが出す小さなサインから心身の異変に気付けるよう観察を行います。食育の活動を通して、健康な体づくりの基礎も学びます。	
	運動・感覚	感覚特性に応じて必要な感覚運動遊びを提供すると共に、苦手な刺激に対しては環境調整をしながら対処法を身につけられるようにします。楽しみながら身体を動かす活動を通して、基本的な身体の使い方を学んでいきます。（体操・ダンス・リトミック・トランポリン・遊具遊び・ビジョントレーニング・楽器演奏など）	
	認知・行動	予定や活動の流れ、終わりの時間を、絵カードや予定ボード・ジャスチャー・タイマーなどを使って分かりやすい方法で伝えます。スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで自信をつけ、意欲を引き出していきます。	
	言語 コミュニケーション	指導員は選択肢を呈示したり言葉を補ったりして、自分の思いを相手に伝えられるように支援します。絵カードやジェスチャーなどを用いて、言葉以外のコミュニケーション手段の獲得も支援します。指導員が間に入りながら、活動を通して他者とのやり取りができる経験の場を提供します。	
	人間関係 社会性	集団での遊びやゲームなどの活動を通して友達とのやりとりの仕方やルールを学んでいきます。他者との適切な距離感や人間関係の構築を目指し、指導員が見本を示したりロールプレイングなどを通してそれぞれの関係性に合った対応の仕方を伝えていきます。	
家族支援	日々の様子については連絡帳を用いて情報交換を行い、本人が抱えている課題や保護者のニーズなどの情報は日々のお迎えの際に情報を共有するとともに、必要に応じて適宜面談の機会を設けます。	移行支援	送迎時や面談・会議などの場において、学校や他利用事業所での様子や課題などの情報を共有し、卒業後の進路決定に向けて情報交換を行っていきます。
地域支援・地域連携	送迎時や会議などの場において学校で設定している課題や日常の様子などの情報を得ると同時に、事業所での取り組みや関わりについて共有します。	職員の質の向上	ケース検討会 法定研修（感染予防、身体拘束・虐待防止、避難・消防訓練など） 定期的な職員のスキルアップ研修
主な行事等	季節の行事（夏祭り、クリスマス会など） 長期休み中の外出（工場見学、遠足、プール、ボウリングなど） 保護者参加イベント		